



# 平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月8日

上場会社名 宮地エンジニアリンググループ株式会社  
 コード番号 3431 URL <http://www.miyaji-eng.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青田 重利

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 遠藤 彰信

TEL 03-5649-0111

四半期報告書提出予定日 平成30年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	11,617	12.2	1,488	27.8	1,560	28.3	1,029	47.4
30年3月期第1四半期	10,355	20.1	1,165	188.0	1,216	176.6	698	304.8

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 1,098百万円 (20.8%) 30年3月期第1四半期 1,387百万円 (698.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	151.31	
30年3月期第1四半期	102.66	

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	52,151	24,908	42.1
30年3月期	54,743	24,184	38.9

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 21,958百万円 30年3月期 21,272百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		40.00	40.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		0.00		60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合後の金額を記載しております。

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	25,000	5.5	2,000	13.2	2,000	9.4	1,300	36.5	191.01
通期	52,500	11.4	4,000	13.7	4,000	10.7	3,000	43.8	440.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	6,919,454 株	30年3月期	6,919,454 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	113,586 株	30年3月期	113,541 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	6,805,883 株	30年3月期1Q	6,806,698 株

(注) 当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末自己株式数および期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
生産、受注及び販売の状況(連結)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国や欧州の政治動向や中国を始めとするアジア新興国等の海外経済の不確実性、金融市場の動向などが懸念されるなか、政府の各種経済対策の効果から雇用情勢や所得環境の改善が続き、設備投資や生産は緩やかに増加し、輸出や個人消費は持ち直し、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループの主力である道路橋・鉄道橋などの橋梁事業につきましては、公共投資が底堅く推移するなか、当第1四半期連結累計期間の総発注量は前年同期比で増加しました。

受注高につきましては、積極的な営業活動を進め、高速道路会社などの新設橋梁に加え、保全・補修工事、ならびに鉄構・免耐震工事などの民間案件も幅広く受注した結果、227億16百万円（前年同期比87.5%増）となりました。

売上高につきましては、手持ち工事が概ね順調に進捗したことから、116億17百万円（同12.2%増）となりました。

損益につきましては、採算性の高い工事が売りが上がったこと、各工事の採算改善や業務全般にわたるコスト削減に努めた結果、営業利益は14億88百万円（同27.8%増）、経常利益は15億60百万円（同28.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億29百万円（同47.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（宮地エンジニアリング）

受注高につきましては、技術提案力の強化など受注強化策を推進した結果、121億74百万円（同204.5%増）となりました。

売上高につきましては、手持ち工事の進捗により、75億94百万円（同20.5%増）となりました。

損益につきましては、生産の効率化、工事採算性の向上、全社挙げての経費削減などに取り組んだことにより、営業利益は11億85百万円（同210.4%増）となりました。

（エム・エムブリッジ）

受注高につきましては、積極的な営業活動に努めた結果、105億40百万円（同29.8%増）となりました。

売上高につきましては、手持ち工事の進捗により、40億47百万円（同14.9%減）となりました。

損益につきましては、採算性の良い工事が前年同期に多く売りが上がったことにより、営業利益は2億78百万円（同68.1%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産合計は、前連結会計年度末と比較して25億91百万円減少し、521億51百万円となりました。主な要因は、工事代金の入金が増加したことから、現金預金が15億14百万円増加し、受取手形・完成工事未収入金等が47億41百万円減少したためであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して33億16百万円減少し、272億42百万円となりました。主な要因は、支払手形・工事未払金が20億38百万円、未払法人税等が6億74百万円それぞれ減少したためであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して7億24百万円増加し、249億8百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が7億57百万円増加したためであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

わが国経済の見通しにつきましては、各種政策の効果によって緩やかな回復が続くことが期待されるものの、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意が必要であり、先行き不透明感があります。

当業界におきましては、当社グループの主力である道路橋・鉄道橋などの橋梁事業につきましては、一定量の新設橋梁の発注が見込まれるなか、グループが有する豊富な実績・技術力・架設力を最大限活かし、技術提案力、積算精度の更なる向上を図り、情報収集力を高め、総力を挙げて安定的な受注の確保に努め、設計・計画・製作から架設までの総合エンジニアリング力の強化と採算性の更なる向上を図ってまいります。また、高速道路や新幹線などの大規模更新・修繕工事の保全・補修事業、シールトトンネル向けの鋼製セグメント事業、ハイブリッドケーソン・浮体構造物・沈埋函などの沿岸構造物事業、有望な製品の多いFRP事業、および建築・土木関連事業などに経営資源を積極的に投入し経営基盤を強化し、併せて、i-Constructionの推進に積極的に取り組み、生産性を向上させ、一段の飛躍を図ってまいります。

なお、当社グループは、平成28年5月13日に公表しております平成28・29・30年度中期経営計画の最終年度を迎え、以上の取り組みを推進するとともに、グループとしての経営管理体制を一層強化し、安定した黒字体質を確固たるものとするよう努め、グループの中核である宮地エンジニアリング株式会社、エム・エムブリッジ株式会社とともに更なる事業発展を図ってまいります。両社は、技術提案力の強化など受注力の向上に努め、また、経済合理性を最大限追求することを基本に、製造部門の生産性向上・生産効率化を図り、資機材の共同購入・活用、技術

の相互利用・共同開発、人材交流の推進に取り組んでおりますが、更に経費削減などを進め、グループの企業価値を高めると同時に経営基盤を一層強化してまいります。

なお、第2四半期累計期間および通期の連結業績予想につきましては、本日公表の「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	12,866,195	14,380,955
受取手形・完成工事未収入金等	22,678,370	17,936,380
未成工事支出金	1,025,974	1,159,573
その他	698,931	1,346,329
流動資産合計	37,269,471	34,823,239
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,028,192	8,028,192
その他(純額)	3,485,882	3,447,193
有形固定資産合計	11,514,075	11,475,386
無形固定資産	135,976	127,922
投資その他の資産		
投資有価証券	5,325,756	5,232,975
その他	548,638	542,550
貸倒引当金	△50,220	△50,220
投資その他の資産合計	5,824,175	5,725,306
固定資産合計	17,474,227	17,328,615
資産合計	54,743,699	52,151,854
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金	11,521,103	9,482,407
短期借入金	3,030,000	3,000,000
未払法人税等	1,128,047	453,414
未成工事受入金	3,439,732	4,014,221
完成工事補償引当金	963,393	958,193
工事損失引当金	2,339,600	1,952,800
その他の引当金	531,249	262,124
その他	1,608,088	1,121,938
流動負債合計	24,561,213	21,245,101
固定負債		
長期借入金	300,000	300,000
再評価に係る繰延税金負債	1,789,708	1,789,708
引当金	129,908	135,655
退職給付に係る負債	2,786,230	2,829,656
その他	992,076	942,859
固定負債合計	5,997,924	5,997,879
負債合計	30,559,138	27,242,981

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000,000	3,000,000
資本剰余金	3,746,206	3,746,206
利益剰余金	9,656,743	10,414,286
自己株式	△230,015	△230,117
株主資本合計	16,172,935	16,930,376
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,843,098	1,757,359
土地再評価差額金	3,487,245	3,487,245
退職給付に係る調整累計額	△230,357	△216,709
その他の包括利益累計額合計	5,099,986	5,027,895
非支配株主持分	2,911,639	2,950,601
純資産合計	24,184,561	24,908,873
負債純資産合計	54,743,699	52,151,854

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
完成工事高	10,355,033	11,617,328
完成工事原価	8,513,799	9,379,538
完成工事総利益	1,841,233	2,237,790
販売費及び一般管理費	676,162	749,311
営業利益	1,165,071	1,488,478
営業外収益		
受取利息	386	489
受取配当金	49,424	56,445
スクラップ売却益	5,776	19,012
その他	10,791	10,970
営業外収益合計	66,378	86,918
営業外費用		
支払利息	9,841	5,091
前受金保証料	2,441	9,202
その他	3,059	659
営業外費用合計	15,341	14,953
経常利益	1,216,108	1,560,442
特別損失		
固定資産除却損	6,366	16,497
特別損失合計	6,366	16,497
税金等調整前四半期純利益	1,209,741	1,543,944
法人税、住民税及び事業税	124,733	394,103
法人税等調整額	239	△20,627
法人税等合計	124,972	373,476
四半期純利益	1,084,768	1,170,468
非支配株主に帰属する四半期純利益	386,006	140,688
親会社株主に帰属する四半期純利益	698,761	1,029,779



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	1,084,768	1,170,468
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	285,779	△85,738
退職給付に係る調整額	16,989	13,647
その他の包括利益合計	302,769	△72,091
四半期包括利益	1,387,537	1,098,376
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,001,637	958,007
非支配株主に係る四半期包括利益	385,900	140,369

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年6月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宮地エンジ ニアリング	エム・エム ブリッジ				
売上高						
外部顧客への売上高	6,302,072	4,752,957	1,108	11,056,138	△701,105	10,355,033
セグメント間の内部 売上高又は振替高	204,818	—	337,263	542,082	△542,082	—
計	6,506,891	4,752,957	338,371	11,598,220	△1,243,187	10,355,033
セグメント利益	381,946	872,810	306,416	1,561,174	△396,103	1,165,071

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない当社（純粋持株会社）であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額は、工事進行基準利益の調整額△60,811千円、セグメント間取引消去△303,337千円及び全社費用△31,954千円であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間（自平成30年4月1日 至平成30年6月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	宮地エンジ ニアリング	エム・エム ブリッジ				
売上高						
外部顧客への売上高	7,594,789	4,047,076	1,146	11,643,011	△25,683	11,617,328
セグメント間の内部 売上高又は振替高	398,952	177,972	366,905	943,830	△943,830	—
計	7,993,742	4,225,048	368,051	12,586,842	△969,514	11,617,328
セグメント利益	1,185,586	278,220	337,083	1,800,890	△312,412	1,488,478

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない当社（純粋持株会社）であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント利益の調整額は、工事進行基準利益の調整額△899千円、セグメント間取引消去△280,543千円及び全社費用△30,968千円であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況（連結）

## ① 生産の状況

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)		前連結会計年度 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
宮地エンジニアリング	6,293,140	75.0	7,557,877	64.7	28,136,515	61.1
エム・エムブリッジ	2,801,829	33.4	4,146,383	35.5	18,526,721	40.2
その他	1,108	0.0	1,146	0.0	2,308	0.0
調整額	△701,105	△8.4	△25,683	△0.2	△622,955	△1.3
合計	8,394,973	100.0	11,679,723	100.0	46,042,588	100.0

## ② 受注の状況

(受注高)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)		前連結会計年度 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
宮地エンジニアリング	3,998,002	33.0	12,174,661	53.6	34,200,707	64.6
エム・エムブリッジ	8,117,956	67.0	10,540,812	46.4	18,776,220	35.4
その他	1,108	0.0	1,146	0.0	2,308	0.0
合計	12,117,067	100.0	22,716,619	100.0	52,979,235	100.0

(受注残高)

セグメントの名称	前第1四半期連結会計期間末 (平成29年6月30日)		当第1四半期連結会計期間末 (平成30年6月30日)		前連結会計年度末 (平成30年3月31日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
宮地エンジニアリング	44,635,480	57.3	57,454,727	61.7	52,874,856	64.5
エム・エムブリッジ	33,308,174	42.7	35,729,544	38.4	29,235,807	35.6
その他	—	—	—	—	—	—
調整額	△23,587	△0.0	△76,053	△0.1	△101,736	△0.1
合計	77,920,067	100.0	93,108,218	100.0	82,008,926	100.0

## ③ 販売の状況

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)		前連結会計年度 (自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
宮地エンジニアリング	6,302,072	60.9	7,594,789	65.4	28,265,401	60.0
エム・エムブリッジ	4,752,957	45.9	4,047,076	34.8	19,483,588	41.3
その他	1,108	0.0	1,146	0.0	2,308	0.0
調整額	△701,105	△6.8	△25,683	△0.2	△622,955	△1.3
合計	10,355,033	100.0	11,617,328	100.0	47,128,342	100.0